

## 岡山県特別支援教育キャリア教育の発達段階表



平成25年11月  
岡山県特別支援学校長会

## 岡山県特別支援教育キャリア教育の発達段階表目次

はじめに	1
岡山県特別支援教育キャリア教育の発達段階表（試案）	2
1 準ずる教育の教育課程（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱）	3
2 知的障害教育の教育課程	4
3 肢体不自由教育の自立活動を主とした教育課程（ 類型）	8
岡山県特別支援学校キャリア教育指導資料作成委員名簿	9

## はじめに

知的障害者である児童生徒を対象とする特別支援学校の学習指導要領において、これまで一人一人の発達段階に応じて、自立や社会参加に向けた勤労観、職業観を育成する教育課程の編成がなされてきました。

特別支援学校に在籍する重度の障害がある児童生徒の場合は、一人一人の個別の指導計画が立てられ、きめ細かく丁寧な指導がなされてきました。しかしながら、自立や社会参加に向けた勤労観、職業観を育成する視点では、どういう発達の大きな道筋のもとに、一人一人の指導内容、指導方法を考えていけばよいのかということがわかりにくいという声がありました。

たとえば、一時間の学習活動が「何が目標なのか、何のために行っているのか」「児童生徒に何の力をつけるのか」、「発達の道筋にそって、将来のどういう力につながっているのか」ということが不明確なまま、「     をしよう」という「活動」になってしまう場合が見受けられることがありました。

平成22年に告示された特別支援学校高等部学習指導要領の総則において、「キャリア教育」が初めて示されました。

これは、これまでの特別支援教育の歩みの中で、さらに充実、発展させていくために、改めてキャリア教育の重要性が示され、教育課程にキャリア教育が位置づけられたということです。

キャリア教育で大切なのは、「社会との関係性・連続性」の中で教育を問い直す視点ではないでしょうか？

育成したスキルや知識等「できる力」を思いっきり社会の中で出せる環境と「何のために」という問かけを繰り返していけば、答えが見えてくるように思います。

このたび、このことを岡山県の特別支援学校が共通理解し、考え直していくことができるよう、「キャリア教育の大まかな道筋」となる指導資料として、岡山県特別支援学校長会が岡山県教育庁特別支援教育課に御協力いただき本資料を作成しました。

今後、この内容をしっかり活用し、児童生徒の自立と社会参加をめざし、「社会との関係性・連続性」の中で教育を問い直す視点での授業の改善につなげていただけるものと期待しています。

最後になりましたが、この資料作成に際して各教科の内容をまとめ、原稿の執筆をしてくださった委員の方々に心から感謝申し上げます。

岡山県特別支援学校長会

## 岡山県特別支援教育 キャリア教育の発達段階表（試案）

### 発達段階表について

本試案では、「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（中央教育審議会平成23年1月31日答申）で示された、「基礎的・汎用的能力」による発達段階表を次の3種類の教育課程で作成しています。

準ずる教育の教育課程（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱）

知的障害教育の教育課程

肢体不自由教育の自立活動を主とした教育課程（ 類型）

### 発達段階表の見方

**要素**：基礎的・汎用的能力をさらに具体的な要素に捉え直しました。

上位項目は準ずる教育の教育課程のもの

下位項目は知的障害のある児童生徒の特性をさらに考慮したもの

要素		段階	小学部下学年	小学部上学年
情報の収集・活用	情報の収集・活用及び基礎	基礎	好きなおもちゃを見たり、分類したりして整理する。	色、形、数などの違いに注目して選んだり、分類したりする。
			簡単な動作を模倣する。	手本を見てできるだけ正確に動作模倣をする。
			楽しみを意識して、活動に取り組む。	楽しみを期待して、教師と苦手な活動に取り組む。
			2つの選択肢から選ぶことができる。	3つ以上の選択肢の中から選ぶことができる。
		教師と一緒に準備や片付けを行う	教師の声掛けを受けて、活動に使う物を準備したり、所定のところに戻したりする。	
		身近に目にするマークや標識に気付く。	教師と一緒に、様々な情報をテレビ、ビデオ、本、図鑑等で見る。	
		複数の活動の中で、教師の提案を受けて、何を選ぶかを選ぶ。	しなければならない活動で、教師と一緒に目標を立てる。	
		一週間の大きな予定を知り、見通しを持つ。	一週間の大きな予定を理解し、予定に沿って生活する。	
できるだけ一人で準備や片付けを行う。	必要なものを理解して、一人で準備や片付けを行う。			

**段階**：知的障害のある児童生徒の実態が多様であるため、発達段階に応じて内容が選択できるように例示されています。各学部とも、2段階で分けられています。

主として障害の程度が比較的重い 意思疎通・日常生活に常時～頻繁に援助が必要
障害の程度が比較的軽い 意思疎通・日常生活に一部援助が必要



キャリア教育の発達段階表

知的障害教育

基礎的・汎用的能力	要素	段階	小学部		中学部		高等部	
			生活・進路の探索・選択に関わる。基礎形成	現実的探索と暫定的選択	現実的探索と暫定的選択	現実的探索・試行と社会的移行準備		
<p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の意見を正しく伝えることができる。共に、自分のおかれていた状況を受け止め、役割を果たし、協力・共同して社会に参画し、社会的に形成することができ</p> <p>人間関係形成能力</p>	コミュニケーション	<p>小学部下学年 自分のしたいことを直接的な方法や発声で伝える。 困ったときに、拒否の気持ちを直接的な方法や発声で伝える。 嫌なときに、拒否の気持ちを直接的な方法や発声で伝える。 行きたい場所や行きたいことがあるとき、絵カードや補助具を用いて許可を求める。 「こっちにおいて、など簡単な指示を受けられる。 音言語やカード、身振りなどを用いて適切に自分の要求を伝える。 困ったときに嫌なときに、教師に適切な方法で気持ちを伝える。 場を離れるときは行き先を伝える。 したいことができなくても、手掛かりを確認するなど気持ちを調整し、指示を受け入れる。 教師の支援を受けながら、身近な人からの「おはよう」「さようなら」の挨拶に、動作や発声等でお応え。 友達に関心をもち、特定の友達と関わることができ、簡単な約束を認識できる。 身近な生活の中にある決まりを意識する。 教師の動き掛けを受け入れて一緒に遊ぶ。 教師と一緒に物を運ぶなど簡単な共同した活動をする。 教師と一緒に集団の中で活動することに慣れる。</p>	<p>小学部上・学年 自分の要求を言葉やカード、動作等で伝える。 困ったときに、教師に伝える。 嫌なときに、教師に言葉やカード、動作等で拒否の気持ちを伝える。 行きたい場所や行きたいことがあるとき、絵カードや補助具を用いて許可を求める。 簡単な指示や説明を聞き、行動をする。 (語文程度)適切な方法や言葉で自分の要求を伝える。 嫌なときに、教師や友達に適切な方法で拒否の気持ちを伝える。 分らないことがあったら身近な大人に尋ねる。 場を離れるときは、許可を求める。 問いかけられたときに、見聞きしたことなどのあらまじや自分の気持ち等を簡単な言葉で挨拶を返す。 教師の支援を受けながら、「ありがとう」「ごめんね」を動作や言葉で伝える。 同性、異性にかかわらず、友達となかよく過ごす。 順番等の簡単な約束を守る。 身近な生活の中にある簡単な決まりを守る。 友達に誘われて一緒に遊ぶ。 教師の援助を受けて友達と一緒に活動に取り組む。 人数や年齢層が異なる集団に参加する。</p>	<p>生活・進路の探索・選択に関わる。基礎形成 集団参加の基礎、活動の開始 学校・家庭生活の中で役割を果たす 小学部上・学年 自分の要求を言葉やカード、動作等で伝える。 困ったときに、教師に伝える。 嫌なときに、教師に言葉やカード、動作等で拒否の気持ちを伝える。 行きたい場所や行きたいことがあるとき、絵カードや補助具を用いて許可を求める。 簡単な指示や説明を聞き、行動をする。 (語文程度)適切な方法や言葉で自分の要求を伝える。 嫌なときに、教師や友達に適切な方法で拒否の気持ちを伝える。 分らないことがあったら身近な大人に尋ねる。 場を離れるときは、許可を求める。 問いかけられたときに、見聞きしたことなどのあらまじや自分の気持ち等を簡単な言葉で挨拶を返す。 教師の支援を受けながら、「ありがとう」「ごめんね」を動作や言葉で伝える。 同性、異性にかかわらず、友達となかよく過ごす。 順番等の簡単な約束を守る。 身近な生活の中にある簡単な決まりを守る。 友達に誘われて一緒に遊ぶ。 教師の援助を受けて友達と一緒に活動に取り組む。 人数や年齢層が異なる集団に参加する。</p>	<p>生活・進路の探索・選択に関わる。基礎形成 集団参加の基礎、活動の開始 学校・家庭生活の中で役割を果たす 小学部上・学年 自分の要求を言葉やカード、動作等で伝える。 困ったときに、教師に伝える。 嫌なときに、教師に言葉やカード、動作等で拒否の気持ちを伝える。 行きたい場所や行きたいことがあるとき、絵カードや補助具を用いて許可を求める。 簡単な指示や説明を聞き、行動をする。 (語文程度)適切な方法や言葉で自分の要求を伝える。 嫌なときに、教師や友達に適切な方法で拒否の気持ちを伝える。 分らないことがあったら身近な大人に尋ねる。 場を離れるときは、許可を求める。 問いかけられたときに、見聞きしたことなどのあらまじや自分の気持ち等を簡単な言葉で挨拶を返す。 教師の支援を受けながら、「ありがとう」「ごめんね」を動作や言葉で伝える。 同性、異性にかかわらず、友達となかよく過ごす。 順番等の簡単な約束を守る。 身近な生活の中にある簡単な決まりを守る。 友達に誘われて一緒に遊ぶ。 教師の援助を受けて友達と一緒に活動に取り組む。 人数や年齢層が異なる集団に参加する。</p>	<p>生活・進路の探索・選択に関わる。基礎形成 集団参加の基礎、活動の開始 学校・家庭生活の中で役割を果たす 小学部上・学年 自分の要求を言葉やカード、動作等で伝える。 困ったときに、教師に伝える。 嫌なときに、教師に言葉やカード、動作等で拒否の気持ちを伝える。 行きたい場所や行きたいことがあるとき、絵カードや補助具を用いて許可を求める。 簡単な指示や説明を聞き、行動をする。 (語文程度)適切な方法や言葉で自分の要求を伝える。 嫌なときに、教師や友達に適切な方法で拒否の気持ちを伝える。 分らないことがあったら身近な大人に尋ねる。 場を離れるときは、許可を求める。 問いかけられたときに、見聞きしたことなどのあらまじや自分の気持ち等を簡単な言葉で挨拶を返す。 教師の支援を受けながら、「ありがとう」「ごめんね」を動作や言葉で伝える。 同性、異性にかかわらず、友達となかよく過ごす。 順番等の簡単な約束を守る。 身近な生活の中にある簡単な決まりを守る。 友達に誘われて一緒に遊ぶ。 教師の援助を受けて友達と一緒に活動に取り組む。 人数や年齢層が異なる集団に参加する。</p>	<p>現実的探索と暫定的選択 応用 活動の拡大・充実 社会の中の役割を知る 中学部 自分の気持ちや意思、意見や要望などを相手に感情や状態、動作などを表す言葉を使い、順序立てて伝える。 自分なりの方法で活動の許可を求めたり、報告・連絡をしたりする。 指示や説明を聞き取って行動したり、教師の支援を受けながら、相手の気持ちを止めたりする。 相手に、根拠やSWIth、敬語等を使った適切な方法で気持ちを伝える。 適切な表現で質問したり、援助を求めたりする。 活動の許可を求めたり、報告・連絡をしたりする。 相手の気持ちや意見を聞く。 出会った人に、自分から言葉や動作で挨拶をする。 「ありがとう」「ごめんね」等を動作や言葉で伝える。 友達と一緒に活動することで友達の良さに気付く。 友達等、人と交わした約束を守る。 生活の中で決められている決まりを守る。 友達と一緒に試行錯誤したり、工夫したりしながら遊ぶ。 作業分担や役割が分かり、自ら進んで活動に取り組む。 集団に進んで参加し、集団内で教師や友達の行動を自分のモデルにしたり、集団に合わせて行動したりする。 状況に見合った適切な方法で、相手に感謝や謝罪、思いやりなどの気持ちを伝える。 友達の良さを知り、関わり合う。 相手の立場を考えて、話したり行動したりする。 集団内の約束を守って、集合や整列など集団行動を身に付ける。 集団の中で生活の流れに乗り、一緒に活動する。 グループ内での自分の役割等を理解し、友達と協力して共同作業する。 集団活動に楽しんで参加し、教師や友達との良い関係を築きながら活動をする。 異年齢集団の中で、いろいろな友達と活動する。</p>	<p>高等部 現実的探索・試行と社会的移行準備 実践 活動の実際化・実践 役割を担う 高等部 相手に応じて適切な方法で自分の意見や気持ちを伝えたり、筋道を立てて正確に話の内容を伝えたりする。 相手の話す内容を適切に理解し、気持ちや意見を受け入れる。 具体的な形でコミュニケーションの基礎・基本を身に付け、状況や場に応じた適切な方法で、自分の意見や気持ちを伝える。 相手の気持ちや意見を受け入れる。 場や状況に応じて、感謝やいたわり、反省などの自分の気持ちを率直に伝える。 友達の良さに気付き、相手を認める。 集団や社会でのルールを守り、役割を意識して協力しながら活動に取り組む。 TPO(とき・場所・場合)に応じた行動をする。 他者の感情や長所を理解し、適切な対応がとれる。 他者の考えや個性を尊重する。 協力・共同して、集団(チーム)の一員として役割を遂行する。</p>

キャリア教育の発達段階表

知的障害教育

力		要 素		小 学 部		中 学 部		高 等 部	
学年齢による役割		自己の役割		生活・進路の探索・選択に関わる基礎形成		現実的探索と暫定的選択		現実的探索・試行と社会的移行準備	
		自己の役割		基礎		応用		実践	
		自己の役割		集団参加の基礎、活動の開始		活動の拡大・充実		活動の実際化・実践	
		自己の役割		学校・家庭生活の中で役割を果たす		社会の中の役割を知る		役割を選択する	
		自己の役割		小学部下学年		小学部上 学年		高等部	
自分が「できること」「意義を感じたこと」「したいこと」について、社会との相互関係を保ち、自分自身の可能性を含めた肯定的な理想に基づき主体的に行動し、自らの思考や感情を律し、かつ、今後すすんで学ぼうとする力	自己理解・自己管理能力	自己認識・自己の障害受容・自己管理	自己認識・自己の障害受容・自己管理	I	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼関係に基づいた支援を受けながら、遊びや学習の役割の一部を楽しんで担う。</li> <li>・家められることで、頑張っている自分に気付く。</li> <li>・教師と一緒に、簡単な手伝いをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や生活の中で、繰り返し行ってきた活動について、自己の役割を意識し、自分の役割をきちんと果たすことができる。</li> <li>・自分が共感され、受け入れられる経験を積むことで、頑張ろうという気持ちを持ち、他者との信頼関係を築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を受けながら、自己の役割を理解し、協働・協調して身近な生活上の課題を具体的な活動を通して解決する。</li> <li>・家庭生活や学校生活の中で、与えられた役割を果たすことに意義を感じ、やりがいをもつ。</li> <li>・支援者と課題に取り組む中で、得意不得意に気付き、繰り返し取り組むことで、苦手なことを少しずつ得意に変える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な援助の中で見出した課題について、肯定的に自己の能力と関係付けて理解し、解決に向けて積極的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や作業、生活上の任せられた役割を、責任を持って果たそうとし、必要であれば、簡単なリーダーシップがとれる。</li> <li>・自己の得意不得意が分かり、励ましや支援を受けたとき、それを信頼し試みる価値があることが分かる。</li> </ul>
				II	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人との信頼関係を基盤として、学校生活や家庭生活で当番や分担任に取り組み、着実に果たすことで、基本的な役割やその意義を感じ取る。</li> <li>・手伝いを行い、役に立っていることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活等の様々な係りや分担任の意義が分かり、責任を持って役割を果たすことで、身近な人との信頼関係が広がる。</li> <li>・係活動や当番活動などの役割を果たし、役に立つ喜びを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んできた知識や技能が、家庭や地域の様々な職業や役割と結び付き、自分との関係が分かる。また、学級活動等で培ってきた基本的な集団活動が友達との間で実行できる。</li> <li>・自らの役割を果たすことで、周りの人の役に立っていることを実感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立を自らの価値とし、卒業後の職業生活や家庭生活に果たす役割を現実的な課題として意識する。また、現在の学習と結び付けて理解し、積極的に身に付けていくこととする。</li> <li>・働くことの意義が分かり、自分の役割を果たす。</li> </ul>	
自己理解・自己管理能力	自己認識・自己の障害受容・自己管理	自己認識・自己の障害受容・自己管理	自己認識・自己の障害受容・自己管理	I	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、基本的な生活習慣を形成する。</li> <li>・教師とやりとりすることを楽しみに、自分から関わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、食事・睡眠・排泄など基本的な生活習慣を身に付ける。</li> <li>・自分の好きなことややりたいことを選ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での生活や日々の学習を結びつけることができ、学ぶことの意義を感じ、学習の目的をもつて主体的に取り組もうとする。</li> <li>・自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義が分かり、将来の独立した生活を指し、より実践的、専門的な知識技能を身に付けることについて自信を高めていくこととする。</li> <li>・自己の特性について肯定的に捉え、努力することの大切さが分かり、必要なときには、適切な支援を求めると、適切に判断力を養いつつ、課題に取り組んでいくこととする。</li> <li>・社会生活に必要な基本的な決まりや制度、規範が分かり、守ることができる。さらに、支援を受けたり、体験を通してたりすることによって活用できる。</li> <li>・一人で(または支援を受けて)クールダウンをする。</li> </ul>	
				II	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不快な場所を自分から避ける。</li> <li>・遊びの中で、自分の好きなもの、好きなことを見付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着くことのできる場所や活動を絵カードなどで伝える。</li> <li>・遊びの中で、自分の好きなものを増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安になったとき、解消する方法を教師と一緒に見付けていく。</li> <li>・活動をする中で、達成できたことを喜び、得意なことになり、自信を高める。</li> <li>・仕事や学習上の課題解決に必要な道具や機器類を有効に活用する経験を支援を受けながら積み、いくつかは自分で利用することができる。</li> <li>・ルールや規範が内面化し、自ら守り実行しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体面の能力も含めて特徴的な自身の長所、短所に気がつき意識して伸ばし・改善を図ることが出来る。</li> <li>・基本的な生活上、職業上の課題を解決し、職業生活等の質を向上させるために、必要な道具や機器類を具体的に有効に使うことができる。</li> <li>・社会生活に必要な決まりや制度、規範が分かり、守り、活用する。</li> <li>・ストレスの解消方法が分かり、実行する。</li> </ul>	
自己理解・自己管理能力	自己認識・自己の障害受容・自己管理	自己認識・自己の障害受容・自己管理	自己認識・自己の障害受容・自己管理	I	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な道具や機器類、おもちゃなどを学習や生活の中で、支援を受けながら目的に沿って利用することができる。</li> <li>・教師と一緒に日常生活の決まりを守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や生活の中で、扱いの簡単な道具や機器類、おもちゃなどを扱うことにより、活動が方向付けられ、自身の能力を有効に発揮することができる。</li> <li>・教師と一緒に日常生活の様々な決まりやマナーを知り、守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事や学習上の課題解決に必要な道具や機器類を有効に活用する経験を支援を受けながら積み、いくつかは自分で利用することができる。</li> <li>・ルールや規範が内面化し、自ら守り実行しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活上、職業上の課題を解決し、職業生活等の質を向上させるために、必要な道具や機器類を具体的に有効に使うことができる。</li> <li>・社会生活に必要な決まりや制度、規範が分かり、守り、活用する。</li> <li>・ストレスの解消方法が分かり、実行する。</li> </ul>	
				II	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家められることで自分のよさに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動を通して、具体的なフィードバックをもらうことにより、自分の特性に気付くとともに、長所を伸ばし、短所を少しずつ改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、身近な道具を適切に使うとともに、情報機器(AAC等含む)等を教師や大人の支援を受け活用しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の能力を伸ばし、支援してくれる道具や機械、情報機器類、材料の扱い方やリスクが分かり、安全や衛生に気を付けながら、学習や生活に生かす。</li> </ul>	

キャリア教育の発達段階表 知的障害教育

周年齢による役割	小学部		中学部		高等部	
	生活・進路の探索・選択に関わる。基礎形成		現実的探索と暫定的選択		現実的探索・試行と社会的移行準備	
	基礎		応用		実践	
要素	小学部	中学部	高等部	高等部	高等部	高等部
基礎的・汎用的能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活・進路の探索・選択に関わる。基礎形成</li> <li>・集団参加の基礎、活動の開始</li> <li>・学校、家庭生活の中で役割を果たす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活・進路の探索・選択に関わる。基礎形成</li> <li>・現実的探索と暫定的選択</li> <li>・社会的役割を知る</li> <li>・活動の拡大・充実</li> <li>・役割を選択する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実的探索と暫定的選択</li> <li>・社会的役割を知る</li> <li>・活動の拡大・充実</li> <li>・役割を選択する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実的探索と暫定的選択</li> <li>・社会的役割を知る</li> <li>・活動の拡大・充実</li> <li>・役割を選択する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実的探索と暫定的選択</li> <li>・社会的役割を知る</li> <li>・活動の拡大・充実</li> <li>・役割を選択する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実的探索と暫定的選択</li> <li>・社会的役割を知る</li> <li>・活動の拡大・充実</li> <li>・役割を選択する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんのおもちゃや本の中から好きなものを取り出す。</li> <li>・楽しみを意識して、活動に取り組む。</li> <li>・2つの選択肢から選ぶことができる。</li> <li>・教師と一緒に準備や片付けを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部下学年</li> <li>・小学部上学年</li> <li>・色、形などに注目して、提示されたものを集めたリ、分けたりする。</li> <li>・楽しみを期待して、教師と苦手を活動に取り組む。</li> <li>・3つ以上の選択肢の中から選ぶことができる。</li> <li>・教師の声掛けを受けて、必要なものを準備したり、所定のところに戻したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部上学年</li> <li>・具体的な学習や課題解決の経験(情報機器の利用も含む)を通して、生活上必要な知識を得る。</li> <li>・活動や作業に必要なものを自分で確認をして自分で準備したり、使い終わったものを所定の位置に戻したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部上学年</li> <li>・具体的な学習や課題解決の経験(情報機器の利用も含む)を通して、生活上必要な知識を得る。</li> <li>・活動や作業に必要なものを自分で確認をして自分で準備したり、使い終わったものを所定の位置に戻したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部上学年</li> <li>・具体的な学習や課題解決の経験(情報機器の利用も含む)を通して、生活上必要な知識を得る。</li> <li>・活動や作業に必要なものを自分で確認をして自分で準備したり、使い終わったものを所定の位置に戻したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部上学年</li> <li>・具体的な学習や課題解決の経験(情報機器の利用も含む)を通して、生活上必要な知識を得る。</li> <li>・活動や作業に必要なものを自分で確認をして自分で準備したり、使い終わったものを所定の位置に戻したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部上学年</li> <li>・具体的な学習や課題解決の経験(情報機器の利用も含む)を通して、生活上必要な知識を得る。</li> <li>・活動や作業に必要なものを自分で確認をして自分で準備したり、使い終わったものを所定の位置に戻したりする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近に目にするマークや標識に気付く。</li> <li>・複数の活動の中で、教師の提案を受けて、何を頑張るかを選ぶ。</li> <li>・一週間の大きな予定を知り、見通しをもつ。</li> <li>・ノートに書き写すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、様々な情報をテレビやビデオ、本、図鑑等で見える。</li> <li>・しななければならぬ活動で、教師と一緒に目標を立てる。</li> <li>・一週間の大きな予定を理解し、予定に沿って生活する。</li> <li>・必要な情報をノートに書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、様々な情報をテレビやビデオ、本、図鑑等で見える。</li> <li>・しななければならぬ活動で、教師と一緒に目標を立てる。</li> <li>・一週間の大きな予定を理解し、予定に沿って生活する。</li> <li>・必要な情報をノートに書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、様々な情報をテレビやビデオ、本、図鑑等で見える。</li> <li>・しななければならぬ活動で、教師と一緒に目標を立てる。</li> <li>・一週間の大きな予定を理解し、予定に沿って生活する。</li> <li>・必要な情報をノートに書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、様々な情報をテレビやビデオ、本、図鑑等で見える。</li> <li>・しななければならぬ活動で、教師と一緒に目標を立てる。</li> <li>・一週間の大きな予定を理解し、予定に沿って生活する。</li> <li>・必要な情報をノートに書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、様々な情報をテレビやビデオ、本、図鑑等で見える。</li> <li>・しななければならぬ活動で、教師と一緒に目標を立てる。</li> <li>・一週間の大きな予定を理解し、予定に沿って生活する。</li> <li>・必要な情報をノートに書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、様々な情報をテレビやビデオ、本、図鑑等で見える。</li> <li>・しななければならぬ活動で、教師と一緒に目標を立てる。</li> <li>・一週間の大きな予定を理解し、予定に沿って生活する。</li> <li>・必要な情報をノートに書くことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事を上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、簡単な課題に取り組む。</li> <li>・教師の支援を受けながら、頑張ることを(目標)を考えた活動に取り組む、活動の最後に頑張ったことが言える。</li> <li>・教師の支援を受けながらスケジュールを確かめ、生活する。</li> <li>・教師からの賞賛で、自分の頑張りに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、簡単な課題に取り組む。</li> <li>・自分で頑張ること(目標)を考え、活動の最後に活動を確認し、頑張ったことが言える。</li> <li>・一日のスケジュールを自分で確認しながら活動する。</li> <li>・遊びや学習の終了時に楽しかったことを振り返る。</li> <li>・手帳や視覚的な手掛かりを活用し、できるだけ一人で課題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、簡単な課題に取り組む。</li> <li>・自分で頑張ることを(目標)を考え、活動の最後に活動を確認し、頑張ったことが言える。</li> <li>・一日のスケジュールを自分で確認しながら活動する。</li> <li>・遊びや学習の終了時に楽しかったことを振り返る。</li> <li>・手帳や視覚的な手掛かりを活用し、できるだけ一人で課題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、簡単な課題に取り組む。</li> <li>・自分で頑張ることを(目標)を考え、活動の最後に活動を確認し、頑張ったことが言える。</li> <li>・一日のスケジュールを自分で確認しながら活動する。</li> <li>・遊びや学習の終了時に楽しかったことを振り返る。</li> <li>・手帳や視覚的な手掛かりを活用し、できるだけ一人で課題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、簡単な課題に取り組む。</li> <li>・自分で頑張ることを(目標)を考え、活動の最後に活動を確認し、頑張ったことが言える。</li> <li>・一日のスケジュールを自分で確認しながら活動する。</li> <li>・遊びや学習の終了時に楽しかったことを振り返る。</li> <li>・手帳や視覚的な手掛かりを活用し、できるだけ一人で課題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に、簡単な課題に取り組む。</li> <li>・自分で頑張ることを(目標)を考え、活動の最後に活動を確認し、頑張ったことが言える。</li> <li>・一日のスケジュールを自分で確認しながら活動する。</li> <li>・遊びや学習の終了時に楽しかったことを振り返る。</li> <li>・手帳や視覚的な手掛かりを活用し、できるだけ一人で課題に取り組む。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・立案・実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・立案・実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・立案・実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・立案・実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・立案・実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・立案・実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・立案・実行</li> </ul>



キャリア教育の発達段階表

知的障害教育

基礎的・汎用的能力	要 素	段 階	小学部	中学部	高等部	
キャリア能力 「働くこと」の意義を理解し、自分が必要な立場や役割との関係を保ち、働くことを位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に選択・活用し、主体的に判断してキャリアを形成していく力	学ぶこと、働くことの意味や役割の理解 役割把握 理解	1 階 2 階	小学部 下学年 ・褒められることで、頑張っている自分に気付く。 ・家庭や学校で支援を受けながら役割を果たし、自分が果たさなければならない役割があることが分かる。 ・教師と一緒に買い物をする。 ・教師と一緒に学校の近くの公園、広場や店を歩いたり、電車やバスを利用したりする。 ・手伝いをして、役に立っていることに気付く。	小学部 上学年 ・褒められたり、支援を受けたりしながら継続して役割を果たすことで、頑張っていることに気付く。 ・この遊びや身近な人たちの様子を見て、働くことや役割を果たすことに慣れをもつ。 ・教師の援助を受けて、買い物をする。 ・買い物には、お金が必要であることが分かる。 ・教師の援助を受けて、身近な公共施設や交通機関を利用する。 ・手伝いをして、役に立っていることに気付く。	中学部 現実的探索と暫定的選択 応用 活動の拡大・充実 社会の中の役割を知る ・係活動や当番活動、手伝いなど、学校や家庭で分担した役割を果たし、認められることで役に立つ喜びを感じる。 ・職場見学や現場体験を通して、様々な職業があることを知り、働くことに関心をもつ。 ・校外学習等で、お金を大切に扱うこと、財布、お金を扱う、おつりをしまおう等を体験する。 ・販売学習を通して、作業で作った製品が商品として販売される流れを体験する。 ・校内実習を通して、働くことが報酬につながることを体験する。 ・現在の生活に必要な公共施設や交通機関等を支援者と共に利用し、必要な移動や地域資源、サービス等を利用できるようなにする。 ・自らの役割を果たすことで、周りの人の役に立っていることを実感する。 ・基本的な社会の仕組みや制度（政治、経済等）、職業の種類（一次産業など）や内容等が知識として分かる。 ・学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行する。 ・生活するために必要なものを計画的に消費することや貯蓄などを通して、お金の大切さや使い方の基本が分かる。 ・労働と報酬の関係が分かる。	高等部 現実的探索、試行と社会的移行準備 実践 活動の実際化・実践 役割を選択する 高等部 ・自分の役割が分かり、それを果たし、働く喜びが分かる。 ・作業学習や現場実習、職場見学等の具体的な体験を通して働くことの意味や大変さを知り、具体的な課題をもって将来の進路を考える。 ・お金の価値が分かり、買い物をする。 ・生活を支える具体的な活動として、お金の計画的な使い方やリスクを避ける方法を支援を受けながら知り、実行していく。 ・公共施設や交通機関などを支援者と共に利用する経験を通して、生活に最低限必要な機関や施設、地域資源やサービスなどを一人で利用できる。 ・働くことの意味が分かり、自分の役割を果たす。 ・職業生活・地域生活において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 ・計画的な消費生活の必要性とリスクが分かり、カード等の形態に対応した金銭の管理をするともに、必要となるときは支援者に相談できる。 ・労働や報酬、自己の能力等の関係が分かる。
			小学部 下学年 ・身近な公共施設や交通機関の利用の仕方を知り、マナーを守って可能な限り自分利用しようとする。 ・模擬的な活動や地域の身近な人たちの様子を見ることが通じて、働くことや役割を果たすことに対する関心を持ち、漠然とした慣れをもつ。 ・家族が役割をもっていることに気付き、いろいろな店に関心をもつ。 ・学習や生活上の目的を達成するための手順や順序に気付き、身に付けた手順を利用したり、変更したりする経験を積む。	小学部 上学年 ・身近な公共施設や交通機関の利用の仕方を知り、マナーを守って可能な限り自分利用しようとする。 ・模擬的な活動や地域の身近な人たちの様子を見ることが通じて、働くことや役割を果たすことに対する関心を持ち、漠然とした慣れをもつ。 ・家族が役割をもっていることに気付き、いろいろな店に関心をもつ。 ・学習や生活上の目的を達成するための手順や順序に気付き、身に付けた手順を利用したり、変更したりする経験を積む。	中学部 現実的探索と暫定的選択 応用 活動の拡大・充実 社会の中の役割を知る ・日常生活に深い公共の施設や公共物、交通機関の利用が自分の生活に必要なことが分かり、アクシデントに対応できるレベルで適切に利用できる。 ・職場見学や職場体験、あるいは本物に近い体験を通して、身近な人たちの役割に気付く、様々な職業や役割があることを知り、働くこと、役割を果たすことに関心をもつ。 ・作業や現実度の高い活動を通して、生活するときに必要な態度や価値に気付き、今後の学習において高めていくこととする。 ・希望する活動や実現したい目標等のために、支援を受けながら計画、実行する経験を積む。	高等部 現実的探索、試行と社会的移行準備 実践 活動の実際化・実践 役割を選択する 高等部 ・自立した生活を送るためには、移動手段の獲得と役割を果たすための機関や制度等を含む社会資源の活用が必要であることが分かり、使えるようになる。 ・作業学習や現場実習、職場見学等の具体的な体験を通して働くことの意味や大変さを知り、具体的な課題をもって将来の進路を考え、日々の学習や生活に取り組む。 ・生活上の課題に気付き、解決するために自分なりの目標や計画を立て、重要な事柄については、支援を受けて着実に計画実行し解決していくこととする。
将来設計	将来設計	3 階	・地域にある職業や流通等の仕組みや内容の概略と簡単な利用者の状況や働く人の工夫、苦労が分かり、慣れた職業を持つ。 ・希望することについて自分で簡単な計画を立て、実行しようとする。	家庭や地域の様子と学習した内容を結び付けて職業や役割が分かり、卒業後の進路について意識する。 ・大まかなライフステージの理解ができ、近い将来の進路や働く生活について、助言を受けながら暫定的に設定する。	産業現場等における実習の経験から自分で進路選択ができる。 ・将来設計、進路希望の実現を目指した目標設定をして、その課題に取り組む。 ・働く生活を中心とした新しい生活を期待し、将来設計を立てる。 ・将来設計に結びつく進路計画を立てる。 ・自分の将来を暫定的に計画する。	

キャリア教育の発達段階表 肢体不自由教育(自立活動を主とした教育課程)

年齢による役割		小学部		中学部		高等部	
基礎的・汎用的能力		生活・進路の探索・選択に関わる基礎形成		現実的探索と暫定的選択		現実的探索・試行と社会的移行準備	
要 素		基礎		応用		実践	
要 素		基礎		応用		実践	
要 素		基礎		応用		実践	
人間関係形成能力	コミュニケーション	小学部下学年 教師からの関わりを受け止める。 快・不快を声や表情、身体の動きで表す。	小学部上・学年 教師の関わりによる表情や声、身体の動きで応じる。 快・不快を声や表情、身体の動きで伝える。	中学部 担任以外の関わりによる表情や声、身体の動きで応じる。 自分の気持ちを伝えようとする。	高等部 現実的探索・試行と社会的移行準備	実践	現実的探索・試行と社会的移行準備
	人間関係の形成	小学部下学年 教師からの関わりを受け止める。 快・不快を声や表情、身体の動きで表す。	小学部上・学年 教師の関わりによる表情や声、身体の動きで応じる。 快・不快を声や表情、身体の動きで伝える。	中学部 担任以外の関わりによる表情や声、身体の動きで応じる。 自分の気持ちを伝えようとする。	高等部 現実的探索・試行と社会的移行準備	実践	現実的探索・試行と社会的移行準備
課題対応力	自己の役割	小学部下学年 おまかな覚醒のリズムをつくる。 痛みや不快を感じる。 教師からの関わりによる興味関心をもつ。	小学部上・学年 覚醒のリズムが安定する。 痛みや不快の感覚を表現する。 教師の反応による興味関心をもつ。	中学部 生活のリズム(睡眠・食事等)が安定する。 痛みや不快の感覚を伝える。 教師から賞賛されたことが分かる。	高等部 非日常的な出来事(生活時間帯の変化等)があっても健康状態を保つ。 痛みや不快を取り除くことを要求する。 教師の自分への評価による興味関心をもつ。	実践	現実的探索・試行と社会的移行準備
	自己の障害	小学部下学年 おまかな覚醒のリズムをつくる。 痛みや不快を感じる。 教師からの関わりによる興味関心をもつ。	小学部上・学年 覚醒のリズムが安定する。 痛みや不快の感覚を表現する。 教師の反応による興味関心をもつ。	中学部 生活のリズム(睡眠・食事等)が安定する。 痛みや不快の感覚を伝える。 教師から賞賛されたことが分かる。	高等部 非日常的な出来事(生活時間帯の変化等)があっても健康状態を保つ。 痛みや不快を取り除くことを要求する。 教師の自分への評価による興味関心をもつ。	実践	現実的探索・試行と社会的移行準備
自己理解・自己管理能力	情報の収集・活用	小学部下学年 教師の声や顔が分かり、気持ちを向ける。 すぐ近くの人や物を注視したり、手を伸ばして触ろうとする。 ひとつながりの物事の終わりを感知取る。	小学部上・学年 教師の声や顔が分かり、気持ちを向ける。 2つの物について違いを感じる。 ひとつながりの物事の終わりを感知取る。	中学部 選択肢の中から自分の好きな物、したいものを選ぶ。 繰り返される物事について、「～したら、～になる」という短い見通しをもつ。 学習経験を通して、様々なことに慣れ、安定した学習ができる。	高等部 周囲のいろいろな人を声や姿などで区別する。 場所や支援者が変わっても、自分の要求を伝える方法をもつ。 日常的に繰り返される物事について、見通しをもつ。 健康面も含め、しっかりとした個性を發揮することで、様々な可能性を発見してもらい、多様な進路の可能性を、教師とともに見出す。	実践	現実的探索・試行と社会的移行準備
	計画・立案・心理的安定	小学部下学年 教師の声や顔が分かり、気持ちを向ける。 すぐ近くの人や物を注視したり、手を伸ばして触ろうとする。 ひとつながりの物事の終わりを感知取る。	小学部上・学年 教師の声や顔が分かり、気持ちを向ける。 2つの物について違いを感じる。 ひとつながりの物事の終わりを感知取る。	中学部 選択肢の中から自分の好きな物、したいものを選ぶ。 繰り返される物事について、「～したら、～になる」という短い見通しをもつ。 学習経験を通して、様々なことに慣れ、安定した学習ができる。	高等部 周囲のいろいろな人を声や姿などで区別する。 場所や支援者が変わっても、自分の要求を伝える方法をもつ。 日常的に繰り返される物事について、見通しをもつ。 健康面も含め、しっかりとした個性を發揮することで、様々な可能性を発見してもらい、多様な進路の可能性を、教師とともに見出す。	実践	現実的探索・試行と社会的移行準備
キャリアプランニング能力	学びこと、働くこと、役割の理解	小学部下学年 いろいろな遊びを体験する。 教師に身体を触れられることを受け止める。 教師と一緒に付近の公園や施設を利用する。	小学部上・学年 教師からの介助を受け止め、一緒に活動に取り組もうとする。 教師と一緒に電車やバスを利用する。	中学部 介助を受けることを受け入れ、一緒に活動に取り組もうとする。 教師と一緒に安定した気持ちで1泊程度の宿泊をする。	高等部 楽しみること(好きな人との関わり、活動)を期待して待つ。 自分の楽しめることで余暇などの時間を過ごす。 協力的な動作をしようとする。	実践	現実的探索・試行と社会的移行準備
	将来設計	小学部下学年 いろいろな遊びを体験する。 教師に身体を触れられることを受け止める。 教師と一緒に付近の公園や施設を利用する。	小学部上・学年 教師からの介助を受け止め、一緒に活動に取り組もうとする。 教師と一緒に電車やバスを利用する。	中学部 介助を受けることを受け入れ、一緒に活動に取り組もうとする。 教師と一緒に安定した気持ちで1泊程度の宿泊をする。	高等部 楽しみること(好きな人との関わり、活動)を期待して待つ。 自分の楽しめることで余暇などの時間を過ごす。 協力的な動作をしようとする。	実践	現実的探索・試行と社会的移行準備

## 岡山県特別支援学校キャリア教育指導資料作成委員名簿

(平成24年度)				
担 当	学校名	職名	氏名	校長会担当者
準ずる教育	岡山盲学校	教 諭	圓戸伸一郎	岡山瀬戸高等支援学校 岡本 啓
	早島支援学校	教諭	石田 豊美	
知的小学部 下学年	岡山南支援学校	教 諭	川上 佳奈	岡山大学教育学部 附属特別支援学校 濱田 敏子
	岡山県健康の森 学園支援学校	指導教諭	加藤 君子	
知的小学部 上学年	岡山西支援学校	教 諭	難波 映二	東備支援学校 小坂田知生
	東備支援学校	教 諭	堀地美智子	
知的中学部	誕生寺支援学校	教 諭	實村 達也	倉敷市立 倉敷支援学校 川口 洋二
	倉敷支援学校	教 諭	川手さとみ	
知的高等部	倉敷琴浦高等支援学校	教 諭	福島 直子	西備支援学校 中川 良枝
	岡山東支援学校	主幹教諭	藤尾愛一郎	
肢体不自由 類型	西備支援学校	教 諭	板谷 真琴	岡山東支援学校 福田由理子
	岡山支援学校	教 諭	岡田佐代子	
(協力者)				
岡山県総合教育センター特別支援教育部			部 長	高橋 章二
岡山県教育庁特別支援教育課			指導主事 (主幹)	金島久美子